

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2016年6月19日聖日礼拝

---

エステル記連講(1)

「それでも神は？」

エステル記

1章1節-22節

竿代照夫牧師

# 聖書朗読 旧約聖書

## エステル記 1章1節～22節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています  
第二版の聖書は 766 ページ  
第三版の聖書は 836 ページ

- 1 アハシュエロスの時代のこと このアハシュエロスは、ホドからクシュまで百二十七州を治めていた
- 2 アハシュエロス王がシュシヤンの城で、王座に着いていたころ、
- 3 その治世の第三年に、彼はすべての首長と家臣たちのために宴会を催した。それにはペルシヤとメディヤの有力者、貴族たちおよび諸州の首長たちが出席した。
- 4 そのとき、王は輝かしい王国の富と、そのきらびやかな栄誉を幾日も示して、百八十日に及んだ。

- 5 この期間が終わると、王は、シュシヤンの城にいた身分の高い者から低い者に至るまですべての民のために、七日間、王宮の園の庭で、宴会を催した。
- 6 そこには白綿布や青色の布が、白や紫色の細ひもで大理石の柱の銀の輪に結びつけられ、金と銀でできた長いすが、緑色石、白大理石、真珠貝や黒大理石のモザイクの床の上に置かれていた。
- 7 彼は金の杯で酒をふるまったが、その杯は一つ一つ違っていた。そして王の勢力にふさわしく王室の酒がたくさんあった。

- 8 それを飲むとき、法令によって、だれも強いられなかった。だれでもめいめい自分の好みのままにするようにと、王が宮殿のすべての役人に命じておいたからである。
- 9 王妃ワシュティも、アハシュエロス王の王宮で婦人たちのために宴会を催した。
- 10 七日目に、王は酒で心が陽気になり、アハシュエロス王に仕える七人の宦官メフマン、ビゼタ、ハルボナ、ビグタ、アバグタ、ゼタル、カルカスに命じて、

- 11 王妃ワシュティに王冠をかぶらせ、彼女を王の前に連れて来るようにと言った。それは、彼女の容姿が美しかったので、その美しさを民と首長たちに見せるためであった。
- 12 しかし、王妃ワシュティが宦官から伝えられた王の命令を拒んで来ようとしなかったため、王は非常に怒り、その憤りが彼のうちで燃え立った。
- 13 そこで王は法令に詳しい、知恵のある者たちに相談した。このように、法令と裁判に詳しいすべての者に計るのが、

王のならわしであった。

- 14 王の側近の者はペルシヤとメディアの七人の首長たちカルシェナ、シェタル、アダマタ、タルシシュ、メレス、マルセナ、ムムカンで、彼らは王と面接ができ、王国の最高の地位についていた
- 15 「王妃ワシュティは、宦官によって伝えられたアハシュエロス王の命令に従わなかったが、法令により、彼女をどう処分すべきだろうか。」
- 16 ムムカンは王と首長たちの前で答えた。  
「王妃ワシュティは王ひとりにではなく、

すべての首長とアハシュエロス王のすべての州の全住民にも悪いことをしました。

17 なぜなら、王妃の行いが女たちみなに知れ渡り、『アハシュエロス王が王妃ワシュティに王の前に来るようにと命じたが、来なかった』と言って、女たちは自分の夫を軽く見るようになるでしょう。

18 きょうにでも、王妃のことを聞いたペルシヤとメディアの首長の夫人たちは、王のすべての首長たちに、このことを言って、ひどい軽蔑と怒りが起こることでしょう。



- 19 もしも王によるしければ、ワシュティはアハシュエロス王の前に出てはならないという勅令をご自身で出し、ペルシヤとメディアの法令の中に書き入れて、変更することのないようにし、王は王妃の位を彼女よりもすぐれた婦人に授けてください。
- 20 王が出される詔勅が、この大きな王国の隅々まで告げ知らされると、女たちは、身分の高い者から低い者に至るまでみな、自分の夫を尊敬するようになりましょう。」

21 この進言は、王と首長たちの心にか  
なったので、王はムムカンの言ったとお  
りにした。

22 そこで王は、王のすべての州に書簡を  
送った。各州にはその文字で、各民族に  
はそのことばで書簡を送り、男子はみな、  
一家の主人となること、また、自分の民  
族のことばで話すことを命じた。

# 説教

エステル記連講（１）

「それでも神は？」

エステル記 １章 1 節- 2 2 節

竿代照夫牧師

# 主テキスト

アハシュエロスの時代のこと  
このアハシュエロスは、  
ホドからクシュまで  
百二十七州を治めていた。  
( エステル記 1:1 )

はじめに:

エステル記について(メモ参照)

# 1. ペルシャ王アハシュエロス (クセルクセス)(1節)

- ・ペルシャ帝国(ペルシャ帝国版図参照)



- ・帝国となり(BC6世紀)
  - インドからエチオピアまで版図を拡大
  - 滅亡(4世紀)
- ・絶対王政の下、各州にサトラップ(総督)を置いて統治
- ・ギリシャと熾烈な戦い(BC492~449年)
- ・アハシュエロス王(BC486~466年)
  - ギリシャとの戦争を継続
  - 敗北
  - 暗殺され
  - その子アルタシャスタが王位に



## 2. アハシュエロス王の宴会(2～9節)

- ・有力者たちとの宴会  
ギリシャ戦争の体制固め
- ・一般市民との宴会  
士気の高揚
- ・女性たちの宴会

### 3 . 王妃ワシュテを呼ぶが、 拒絶される ( 10 ~ 22 節 )

- ・ワシュテの召喚 ( 美貌を誇示するため )
- ・ワシュテの拒絶
- ・王の怒り ( 理不尽さの現れ )
- ・側近の進言  
ワシュティの退位  
男を敬うべき法律 ?
- ・法律の布告と王妃選定の始まり

おわりに:

歴史の  
真の支配者である  
主を  
認めよう